

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2008年11月21日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

| | |
|------|---|
| | NUBIC管理番号: <input type="text" value="2007000069"/> 整理番号 <input type="text" value="11193"/> 担当者 <input type="text" value="加根魯 和宏"/> |
| 表 題 | <input type="text" value="微細軸の切削方法と加工用工具形状の設計方法"/> |
| 技術分野 | <input type="text" value="機械・加工"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text" value="掲載"/> |
| 適用製品 | <input type="text" value="マイクロ金型用ピン, マイクロマシン用機械部品, 回転軸, 医療機器(注射針, カテーテル等)"/> |
| 目 的 | <input type="text" value="従来研削加工や放電加工を用いてしか実現できなかった微細軸の加工を切削加工で実現することを目的としており, 従来に比べて1桁あるいは2桁以上の加工能率で高精度な機械加工を実現する方法を提案し, これに用いる切削工具の幾何学的形状の設計方法を提案する。"/> |
| 技術概要 | <input type="text" value="旋削加工を行うと切削抵抗が発生するが, 工具のアプローチ角と切込み量を適切に設定することにより, 切削抵抗の内の背分力をゼロとすることができる。背分力がゼロとなれば, 旋削中に工作物は変形せずアスペクト比が大きな微細軸(例:直径0.05mm, 長さ:3.5mm, アスペクト比:70)を容易に切削できる。"/> <input type="text" value="本発明では背分力がゼロとなるような工具のアプローチ角と切込み量の組合せを明らかにし, これらの関係を理論的に説明している。"/> <input type="text" value="さらに, 切込み量に依存せずに背分力が常にゼロとなるような工具の幾何学的形状を設計する手法を開発した。この方法によれば, 任意の形状を持った微細形状を容易に加工することが可能である。"/> |

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

| | |
|---------------|---|
| 面談希望日時 | <input type="text"/> |
| (ふりがな) 氏 名 | <input type="text"/> |
| 会社名 | <input type="text"/> |
| 所 属 | <input type="text"/> 役職 <input type="text"/> |
| 電話番号 | <input type="text"/> FAX番号 <input type="text"/> |
| E-mail | <input type="text"/> |
| 連絡事項 | <input type="text"/> |



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp